



四日市看護医療大学

四日市看護医療大学同窓会報

Vol.7

令和元年10月30日 発行

四日市看護医療大学同窓会事務局

ごあいさつ

四日市看護医療大学同窓会会長 平成23年度卒業 葛谷 直樹

仲秋の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

暑さも残る中、秋空を感じながら季節の変わり目を肌で感じる時期になってまいりました。

みなさん、体調は大丈夫ですか？

さて、この度、一期生の近藤あおいさんからバトンを受け、四日市看護医療大学同窓会会長に就任しました、前副会長の葛谷直樹です。

先輩方が築いていただいた同窓会をよりよいものにしていくために努力してまいりますので皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

同窓会としても、10期生までの卒業生を迎えて、ますます大きな組織として繁栄していくことを役員一同尽力してまいります。そのためにも卒業生みなさんの声を反映していくことが大切であり、健全な同窓会の運営ができるように日々励んでいます。気になることや分からないことや、こうしてほしいと卒業生のためになることであれば意見を頂戴し、吟味させていただきますので、気軽に役員に声をかけてください。また、大学の同窓会ホームページもあるのでぜひ活用してみなさんで同窓会を盛り上げていきましょう。

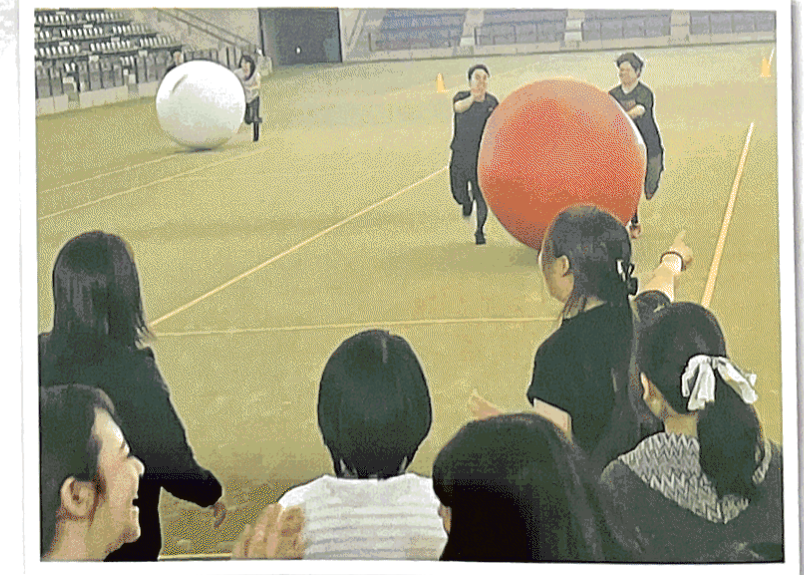
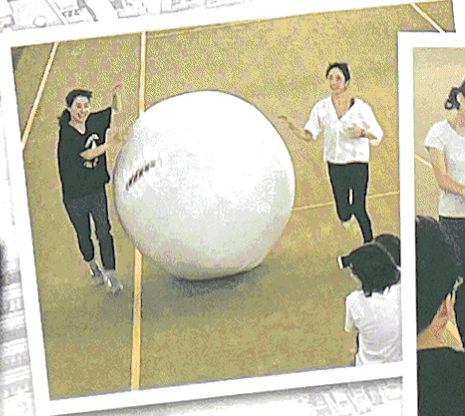
私事にはなりますが、こどもが5歳と2歳を迎えようとしています。仕事と育児の両立は大変難しく、いつも妻に感謝しているばかりです。みなさんも子育て世代に突入している方が多くみえると聞きます。子育ては大変です。

でも、たまには息抜きをして、母であり、父であることに胸をはり、迷うことや泣けてくることもあります。それはそれで当たり前です。母であり、父であります。一人間として抱く感情です。私も妻もときには怒れて、泣けてくることもあります。

でも、1人で悩まず、育児の相談、仕事の相談が気軽にできる、そんな同窓生でありたいと思います。

みなさん、体調に気をつけて、自分を大切に、日々明るく過ごしていきましょう。

みなさんにとって、同窓会が少しでも力になれる場であるように日々尽力してまいりますので、役員一同よろしくお願い申し上げます。



自分らしさを大切に、 頑張ってください。

三好 陽子 准教授



卒業生の皆様、お元気でしょうか？四日市看護医療大学は現在までに9期生を社会に送り出し、私も入職して5年目になりました。皆さんとともに過ごした期間は私にとっても貴重な経験であり、楽しい思い出でもあります。皆様は、職場で中堅になられた方、職場を変わられた方、大学院等に進まれた方、また、ご結婚された方など、それぞれの道で頑張っておられることと思います。病院の実習などで卒業生をみかけると、年々遅くなっていき、誇らしく思います。大学を卒業し、看護職となった皆さんが後輩の学生にやさしく丁寧に教えている姿を見ると、立派になったなと感心します。また、指導を受けた後輩の学生は「あの時の看護師さんになりたい」と憧れを抱き、その輪は永遠と繋がっていきます。四日市看護医療大学の理念である『人間たれ』らしい、愛情あふれる豊かな人間性が先輩から後輩へと伝わっていくのを大変嬉しく感じます。でも、人生には色々なことがあります。看護の学びは生涯続くものであり、時にはつらくなったりすることがあるかもしれません。成長するためには困難なことにも対処し、乗り越えることが必要となります。もし、皆さんが今後の人生において立ち止まって考える際に、誰かのアドバイスを聞きたい、相談したいと思われた時には、ぜひ大学に立ち寄ってください。私たち教員はどのような状況でも、皆さんを応援し、温かく見守っています。そして、どんな時にも「自分らしさ」を見失わないように、自分が望んだ道を目指す努力を続けて欲しいと思います。皆さんが自分らしく生き生きと自分が進みたい道に歩いていくことを願っています。皆さんの今後のご活躍を期待しています。

皆様のご活躍を 見聞きすると、とても 嬉しい気持ちになります。

吉川 尚美 助教



卒業生の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。卒業後、年月とともに経験を積み職場の中堅として活躍されている方、後輩指導に当たられる方、あるいは新人として刺激的な日々の中で奮闘している方、それぞれの立場で頑張ってみることでしょう。この春に9期生が卒業し、四日市市をはじめとして日本全国にわたり、数多くの卒業生の皆様が活躍されており、とても嬉しい気持ちになります。

私は臨地実習指導で、市立四日市病院や三重県立総合医療センターなど、四日市市内の病院に伺っています。実習中に学生が、「あの看護師さんは患者さんに優しい」「学生が困っていたら声をかけて助けてくれた」と教えてくれることがあります。私が「あの方は卒業生よ、先輩だよ」と伝えると、どこか嬉しそうに目をキラキラさせ、「自分も先輩のようにになりたい」と話してくれます。中には「先輩のようになれるか不安、自信がない」という学生もいますが、卒業後に立派に働く姿で再会できた時には、さらに嬉しく誇らしい気持ちにさせてもらっています。

看護職として仕事を続けることは、やりがいは十分ありますが、ストレスをかかえることも沢山あると思います。そんな時は、肩の力を抜いて学生時代の友人や職場の同期や同僚、家族に支えてもらいましょう。特に、お互いに気心知れた学友は一生の宝になりますので、どうぞ大切にしてください。また、私たち教員はいつでも皆さんのサポーターです。今後の皆様のご活躍を応援しています。

自分を褒めて良い イメージを描く

春名 誠美 助教



卒業生の皆さんお元気ですか？お久しぶりです。

早いもので、本学も800人以上の卒業生を輩出しました。私も、これまでの卒業生との思い出を回想しては、様々な出来事が思い出され時の流れの速さを噛みしめています。

多くの同窓生の皆さんが、病院や施設、企業など様々な地域社会の中で活躍しています。その中で、様々な経験を経てベテランの域に達し頑張っている人、勤務場所を代えて新たな気持ちで頑張っている人、あるいは、離職した人など、色々な道歩んでいることでしょう。どのような歩みにしろ、それぞれの人生を精一杯進んでいってほしいと思います。

皆さん、学生の時の、初めて看護の教科書を手にした時、白衣を着たとき、実習に行った時…その時の自分の気持ちって憶えていますか？

イメージはとても大切です。「こんな自分でありたい」「こんな自分になりたい」…仕事だけでなくプライベートでも、それぞれの夢があると思いますが、「良いイメージ」を持つことはとても大切な事です。しんどくて、疲れてなにも考えたくない時はゆっくり休めばいいと思います。しかし、これまで歩んできた日々、道のりは忘れないでください。その時の自分を、褒めてあげてください。「実によく頑張ったよなあ」「自分、凄いや」と。そして、ちょっとした自分の頑張りや気づきを褒めて、良いイメージを描いてください。

進むスピードや方向は違っても、あなた方の看護の学び舎は、変わらずここにあります。成長を感じたとき、疲れて嫌になった時、どんな時でも、気軽に立ち寄ってください。私たちは、いつでもいつまでも皆さんの事を思っています。遠くにおいて、なかなか来ることが叶わない人も、遠慮なくお便りください。

私たちは、あなた方の大切な母校の発展に努力しながら、皆さんの幸せをいつも願っています。

●大学の現況



のびゆく大学！

学科長 豊田 妙子

卒業生のみなさま おかわりございませんか？ そして、笑顔でいらっしゃいますか？

本学は、来年4月に臨床検査学科が開設されます。それに伴い、看護学部が看護医療学部へ名称変更となります。看護学部看護学科を卒業されたみなさまには、一抹のさみしさがあるかもしれません。しかし、これは新たな始まりです！

みなさまは、地域・在宅・病院などケア提供の場で、多くの職種が協働することが重要であることを実感され、また実践されているところだと思います。看護学科単科での学内授業では、ことチーム医療についての実践的な学びに限界を感じることもあります。しかし、臨床検査学科が開設されることによって、学内でもチーム医療についての学びを深めることができるという始まりです。

看護学科においても、本学の建学の精神「人間たれ」を基盤に、この先の看護のあり様を踏まえて、本学らしい新しいカリキュラムの策定をしているところです。楽しみにしててくださいね。

一方、卒業生のみなさまが、築いてくださった看護を探究する姿勢は、変わりなく受け継がれています。卒業生のみなさま、この「のびゆく母校」へ、ぜひ足をお運びください。教職員みなまでお待ちしております。

新任教員

【平成31年4月】

吉田和枝教授（成人）、草野純子准教授（基礎）
杉本七海助手

退任教員

【平成31年3月】

落合富美江教授（母性）、大川明子教授（成人）、
鈴木里美講師（基礎）、近藤三由希助教（基礎）

第11回

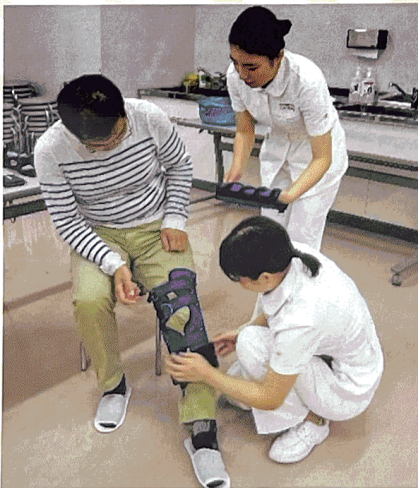
よんよん祭

テーマ：「Toward」

10月26日(土)・27日(日)

今年度で13回目となる本学大学祭、四日市大学×四日市看護医療大学合同大学祭「第11回よんよん祭」を10月26日(土)・27日(日)に開催いたします。

大学祭イベントでは、模擬店、カラオケ大会、お笑いコンテスト、クイズ大会、ファイヤーパフォーマンスなどを始め、多くのイベントを実施、また今年で3年目となる『プチっとナース体験』では、たくさんのイベントや体験を企画しております。大学祭実行委員はじめ、学生スタッフ一同、卒業生の皆様のご来場を心からお待ちしております。



イベントへ参加するごとにスタンプを
ゲット、集めた数に応じて緑日コー
ナーで遊べます。

▼△▼プチっとナース体験（看護棟）イベント内容▲▽▲

消化器迷路/Let's ボディメカニクス/妊婦体験/赤ちゃんと一緒に♪/
車椅子体験/自分自身を知ってみましょう/くれよんサークル・災害支援サー
クル・救命部・ハンドマッサージクラブ・Sign（手話サークル）/縁日コーナー



● 同窓生メッセージ

中村将司 (平成23年度卒業)

二期生の中村将司です。私は名古屋市立大学病院に勤めて7年目になりました。部署異動も経験し、現在は救急病棟でチームリーダーを担い日々奮闘しています。特に就職して3年目までは我武者羅でした。沢山の人の支えられ、可愛がられ(まるで相撲部屋)同期とも切磋琢磨し辛いながらも、楽しい青春時代のような期間を過ごし今に至ります。

今後は大学院に進学し、看護管理学を専攻して自身のキャリア開発を進めていく予定です。きっかけは、これまでの経験から看護師の労働安全衛生に関する問題にとっても興味が湧いたためです。

特に新人看護師は、教育された素晴らしい人材が多く入職してきます。一方で、臨床を離れる若手看護師も大勢います。貴重な人材を未来に向けて大切に育てるには、この業界の当たり前を変えていく必要があるのかもしれませんが。看護に携わる卒業生の皆様、より良い看護・医療の将来に向けて、共に頑張っていきましょう！

清水美和 (平成23年度卒業)

私は大学を卒業し、市立四日市病院に就職しました。小児科、NICU、産婦人科病棟を経験し現在四日市レディースクリニックで働いています。市立四日市病院では、新生児から高齢の方まで幅広い患者さんと接し、分娩からターミナルケアまで様々な経験をすることができました。現在クリニックでは、分娩や育児をお母さん達と一緒に楽しみながら働いています。急性期病院ではなかなか関われなかった退院後の人達にも接することができ、様々な発見があります。これからも大学で学んだことや働いてきた経験を生かして頑張っていきたいと思います。

日比野佳奈 (平成23年度卒業)

私は卒業後、三重県立総合医療センターの救命救急で3年間、看護師として働きました。そこでの経験から、患者さんやご家族を中心に多職種でコミュニケーションを取り合いながら、最善のケアを常に考えていくことの大切さを学びました。その後、長崎大学大学院へ進学し、助産師免許を取得、関東の病院で助産師として勤務して3年目になります。現在勤務している東京女子医科大学八千代医療センターは、総合周産期母子医療センターとしてローリスクからハイリスクまで対応しており、母胎搬送もとても多く、生命の誕生がどれほど奇跡なことかということを日々実感しています。時には辛いこともありますが、母になった女性の表情や、子を想うご家族の思い、無邪気な赤ちゃんの表情に心癒されます。そんな奇跡の生命誕生の瞬間に立ち会えることができる助産師という仕事が、大好きであり誇りに思います。そして日々私は、世界で活躍する助産師になるという目標に向かい、努力しています。

宇野はるな (平成28年度卒業)

わたしは三重大学病院の腫瘍内科、皮膚科病棟に所属しています。熱傷や周術期などの急性期看護だけでなく、化学療法や放射線療法なども多く取り扱う病棟です。がん性疼痛を抱える患者さんも多く、緩和ケアチームなどと連携して疼痛コントロールを行い、患者さんにとってよりよい生活ができるようにサポートを行っています。急性期病院ではありますが、がん看護や緩和ケアについても幅広く学ぶことができる病棟です。

中にはターミナルの患者さんもみえるため、一人一人の患者さんとじっくり関わり、患者さんとその家族の思いに寄り添った看護を常に心掛けています。

倉田菜那 (平成30年度卒業)

私は名古屋第一赤十字病院の呼吸器センター・眼科で働いています。高齢者や重症な方が多いこの病棟で、新人ナースとして、未熟なまま業務を行う不安と緊張感があります。そして先輩から指導を受ける中で日々痛感することは、これまで大学で学んだ解剖生理や看護とは何かという基礎を理解しておくことの大切さです。学生の頃の私は、実際に自分が患者さんを看護する事を想定して講義に臨んでいませんでした。臨床に立っていざ患者さんを目の前にすると、自分の知識・技術不足が患者さんの命に関わるという事を改めて実感し、自らの課題を見つけて日々勉強しています。

辛い事も多いですができることが増えていく喜びや、患者さんから笑顔をもらった時にやりがいを感じます。少しでも患者さんの笑顔を増やしていけるよう日々努力していきたいと思っています。

今井 栞 (平成30年度卒業)

私は三重県立総合医療センターの産婦人科病棟で働いています。私の病棟では新生児のケアや化学療法、術前術後のケア、お産など幅広い年齢層の方と関わり、多くのことを日々学んでいます。

まだ知識・技術・要領ともに不足している点が多く辛い思いをすることも多いですが、その分できることが増えるととても嬉しいです。

また、お産は幸せな場と言われていますが、幸せな場を作るためには産婦さんや家族さんだけでなく、スタッフの努力も支えとなっていることを日々現場で感じています。

自分もいつか、患者さんの縁の下の力持ちとなれるような助産師になりたいと思っています。

今後も日々学ぶ姿勢を忘れずに精進していきたいと思っています。

加藤 友 (平成30年度卒業)

私は伊勢赤十字病院の循環器内科で働いています。循環器は私の志望した科でした。なので、私は循環器に決まったときにとっても嬉しかったです。実際に仕事が始まり、学生の頃とは違った大変さ、やりがいを感じました。時には本当に仕事をやめたいと思うこともあったのですが、一緒に分かちあってくれる同期、分からないことを丁寧に教えてくれる先輩に助けられて毎日を過ごしています。就職し、半年経ち出来ることも増え、毎日仕事に行くことが楽しくなってきました。日々、分からないことについて勉強しながら、理解し、分かることを1つずつ増やして行けるように努力しています。就職してすぐは大変なことが多いかもしれませんが、そこを乗り越えることで新たな楽しみがうまれると私はおもいます。



四日市看護医療大学大学院 看護学研究科（修士課程） 院生募集

卒業生の皆さん、大学院進学をめざしてみませんか！

研究科長 萩 典子

少子高齢化社会、医療技術のさらなる進歩・高度化の中で、専門職としての看護職に対する人々の期待は高まっています。卒業生の皆さんは、保健・医療・福祉の最前線で奮闘していることと思います。あわただしい日常の中で少し歩みを止めて、自分自身のキャリアについて考えてみませんか。

本学大学院修士課程では「修士論文コース」と「専門看護師（CNS）コース」を設け、複雑な健康問題の解決に向けて、必要な能力の向上に取り組むことができる人材の育成に取り組んでいます。様々な制度を利用し、多忙な仕事を継続しながら学べるような教育環境を整備しています。

これまでのキャリアをいかしながら、看護実践能力を高めたい方、研究力をつけたい方、看護教育に興味をもっている方など、看護学の探究に意欲を抱いておられる卒業生の皆さん、本学大学院の進学を考えてみませんか。まだ具体的な目標を持っていない方もいらっしゃると思いますが、ぜひ一度、ご相談下さい。教職員一同、心より歓迎いたします。電話、メールをお待ちしています。

お問い合わせ先 入試広報室 Tel：059-340-0707 E-mail：nyushi@y-nm.ac.jp

入学試験案内

出願期間	試験日
2020年2月7日(金)～2月14日(金) [締切日必着]	2020年2月22日(土)

卒業生特典

1. 入学検定料 35,000円 ⇒ 25,000円
 2. 入学金 200,000円 ⇒ 100,000円
 3. 授業料(年額) 750,000円 ⇒ 375,000円
- ※授業料は修業年限2年の場合の年額

コース・分野

コース	専攻領域・分野	
修士論文コース	看護学基盤分野	基礎看護学
		在宅看護学
		看護管理学
	産業看護学分野	産業看護学
		母子支援看護学
		急性看護学
		慢性看護学
看護学実践分野	老年看護学	
	精神看護学	
	急性看護学(急性・重症患者看護)	
専門看護師(CNS)コース	看護学実践分野	急性看護学(急性・重症患者看護)

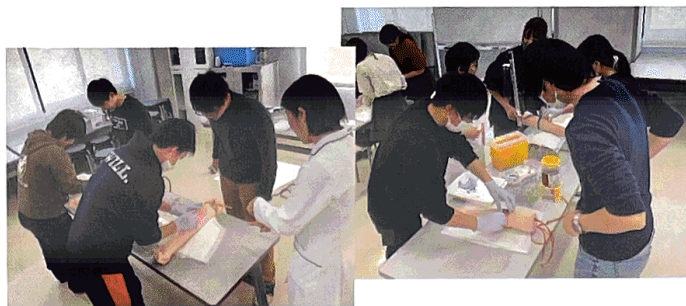
※専門看護師(CNS)コースは、日本看護系大学協議会より専門看護師教育課程として認定されています。

※職業を有している等の事情により、標準の修業年限(2年)で修了が困難な方に対し、在学期間3年の長期履修制度を設けています。

卒業生サポート

卒業生のみなさま、いかがお過ごしでしょうか。

四日市看護医療大学では、卒後3年未満の本学卒業生を対象に看護技術演習会を開催しております。今年度は、初の試みとして卒業前の3月4日(月)、5日(火)に企画したところ68名の参加がありました。採血・静注シミュレータ“シンジョーⅡ”などのシミュレータや、インサイト、オブサイトなど実際に病院や施設で使われている資材で演習を行いました。就職前に演習できたことは、就職への不安の軽減や自信にもつながったのではないかと思います。また、就職直後の4月6日(土)、13日(土)にも開催し、43名の卒業生が来学しました。就職して1～2週間ではありますが、学生時代とは違う真剣な表情で演習に取り組んでいました。その姿はこれからの看護を担うものとしての責任感のようにもみえ、とても頼もしく感じました。最後になりますが、卒業生のみなさまの活躍を心から応援しております。



決算報告書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(単位 円)

費目	予算	決算	備考
収入の部			
会費収入	3,150,000	3,150,000	同窓会費105名分
雑収入	100	163	貯金利息
当期収入合計	3,150,100	3,150,163	
繰越金	21,002,879	21,002,879	前年度より
合計	24,152,979	24,153,042	

費目	予算	決算	備考
支出の部			
ホームページ運営費	1,950,000	1,801,728	ホームページ作成・管理
卒業生支援費	800,000	70,416	注射モデル
卒業生記念費	135,000	159,312	H30卒業生記念品105名分
会報等発行費	280,000	455,352	印刷関係(会報印刷・葉書・封筒)・送付代
母校応援費	800,000	501,552	卒業生演習用(胎児モデル、分娩介助等)
総会・講演費	1,000,000	840,485	講師料、施設利用料、その他
会費	52,500	52,500	暁学園連合同窓会会費H30卒業生105名分
会議費	100,000	210,752	役員会・打ち合わせ
事務運営費用	80,000	9,396	ラベルシート等
当期支出合計	5,197,500	4,101,493	
次年度へ繰越金	18,955,479	20,051,549	
合計	24,152,979	24,153,042	

同窓会役員

会長	葛谷 直樹 (平成23年度卒業)	理事	小嶋 まり (平成22年度卒業)
副会長	近藤あおい (平成22年度卒業)	〃	寺尾 亮平 (平成23年度卒業)
〃	北森 史佳 (平成24年度卒業)	〃	城島 三愛 (平成23年度卒業)
理事(書記)	達 晴香 (平成26年度卒業)	〃	新田 悠介 (平成25年度卒業)
〃	山平 佳奈 (平成28年度卒業)	〃	安達 菜月 (平成25年度卒業)
理事(会計)	中村明日香 (平成23年度卒業)	〃	利見樹良莉 (平成27年度卒業)
〃	田路 康恵 (平成26年度卒業)	〃	山門 美結 (平成28年度卒業)
理事(監査)	伊藤 愛美 (平成25年度卒業)	〃	下田 楓子 (平成29年度卒業)
〃	中村 愛佳 (平成25年度卒業)	〃	塩見 敦哉 (平成30年度卒業)

編集後記

同窓会理事 寺尾 亮平 (平成23年度卒業)

10月に入り、朝晩はめっきり寒くなって参りました。同窓生の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。さて、来年度は同窓会設立5周年の年になります。同窓会役員一同、力を合わせて同窓会開催に向け尽力していきたいと考えております。皆さまにおかれましても、ご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

また、住所変更の用紙を同窓会会報に同封させていただいております。住所変更される方は是非ご協力をお願い致します。

最後になりますが、以前ご案内した通り同窓会のホームページを開設しております(<http://y-dousoukai.com>)。多くの同窓生の方から、現状報告や在学生へのメッセージをいただいております。ぜひ、同窓会ホームページもご覧ください。